

国際学群の概要

(1) 教育目標

国際学群の教育目標は21世紀地球市民として、「地域社会及び国際社会で活躍できる人材」を育成することである。すなわち、地球規模での協調・共生と、一方で国際競争力の強化が求められる時代の中で、柔軟かつ総合的に判断できる能力等の育成が重要であるということに鑑み、多様な社会的ニーズに対応できる人材を育てることである。

(2) 人材育成

本学は、北部12市町村（名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊是名村、伊平屋村）よりなる北部広域市町村圏事務組合が開設する公立大学である。

沖縄県北部地域に建てられた唯一の公立大学として、幅広い職業人の育成機関であることは社会的責務である。国際学群においては、「国際文化専攻」、「語学教育専攻」、「経営専攻」、「情報システムズ専攻」、「診療情報管理専攻」、「観光産業専攻」と6つの専攻を融合させた教育課程による教育を施し、教養教育科目を基礎として、6つの専門分野でそれぞれ活躍できる人材を養成する。

(3) 進路

卒業後の進路としては、学群の制度を活かした幅広い就職先が考えられる。進路の見通しとして具体的に考えられるものは、以下のとおりである。なお、6専攻ともさらに研究を深化させ、より専門的な学際知識を獲得できるようになっており、本学大学院国際文化研究科にもそれらに対応できる専攻・専修がある。

① 国際文化専攻

地方公務員、在外公館職員、中・高等学校教諭（英語）、日本語教師、国内外のNGO・NPO法人、国内外の大学院等の高等教育機関への進学 等

② 語学教育専攻

地方公務員、在外公館職員、中・高等学校教諭（英語）、日本語教師、国内外のNGO・NPO法人、国内外の大学院等の高等教育機関への進学 等

③ 経営専攻

地方公務員、高等学校教諭（情報・商業）、店舗経営者、マーケットリサーチャー、事業統括者、金融機関（銀行、証券会社等）、国内外のNGO・NPO法人、国内外の大学院等の高等教育機関への進学 等

④ 情報システムズ専攻

地方公務員、高等学校教諭（情報・商業）、医療機関、情報技術者、ネットワーク管理者、金融機関（銀行、証券会社等）、国内外のNGO・NPO法人、国内外の大学院等の高等教育機関への進学 等

⑤ 診療情報管理専攻

地方公務員、医療機関（診療情報管理士、医師事務作業補助）、医療・介護・福祉・ヘルスケア関係企業（医薬品、医療機器、医療システム開発等）、金融機関（銀行、証券会社等）、国内外のNGO・NPO法人、国内の大学院等の高等教育機関への進学 等

⑥ 観光産業専攻

地方公務員、旅行会社、ホテル宿泊業施設、交通運輸企業、野外活動指導員、国内外のNGO・NPO法人、国内外の大学院等の高等教育機関への進学 等

（4）専攻の特色

国際社会及び地域社会の要請に応える人材育成モジュールである6専攻の特色は以下の通りである。

国際文化専攻

沖縄県は、その島嶼性から古琉球の昔より進取の気性に富み、東南アジアや東アジアそれに中南米の地域と深い関係をもつ。また、これらの地域には 20 世紀初頭以来、沖縄県から多くの人々が移民しており、現在に至るまで深い人的・文化的な繋がりができている。このような沖縄県の持つ諸条件を活かして、地球規模で活躍する人材の育成は本学の最も必要とするところである。

そこで本専攻では5つのコース（①沖縄コース、②日本コース、③アジアコース、④中南米コース、⑤国際協力コース）を設け、これらの地域や分野における国際文化の理解と国際協力を担う人材の育成を教育の目標として掲げている。

沖縄コース及び日本コースでは地域研究を行い、沖縄文化や日本文化の継承発展及びそれを通して、特にヤンバル（沖縄本島北部）地域の発展に貢献しうる人材の輩出を目指す。

アジアコースでは、経済発展が目覚ましい東アジア、歴史関係の深い東南アジア、それにIT産業を中心に経済発展の可能性を秘めている南アジアについて、互いの連関を視野に入れた広域的な活躍ができる人材の育成を目指す。

中南米コースでは、沖縄系移民の子孫が約30万人も存在する南米地域の文化や歴史を中心に学習する。加えてブラジルやペルー、アルゼンチンの学術交流協定大学に留学の機会を与え、これらの国々の文化について体験的、実践的な理解を目指す。

国際協力コースでは、広く国際社会の現状や紛争や貧困などの課題について理解を深め、国際機構やNGOや多国籍企業などの国際協力機関で活躍する人材の育成を目指す。

語学教育専攻

本専攻は、建学の理念である「国際社会で活躍できる人材育成」を目指して国際的視野に立って行動する学生を育てることを教育目標とする。さらに、国際共通語としての英語の専門的なレベルを習得させると共に、日本語を指導し、自己の考えを的確に発信できる高い日本語力の習得を目指す。

本専攻は英語教員、日本語教師を養成するとともに、英語力、日本語力を生かした進路選択を可能にし、地域に貢献できる人材育成を実現する。教員養成では、教育者としての使命感を持ち、人間の成長・発達についての深い理解、児童・生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養を持つ人材育成を目指す。

本専攻の教員養成プログラムは現場での体験を重視し、教育の知識や技術が机上のものに終わらず、豊富な教育現場体験による、実践的な教員養成を目指す。

本専攻は母語による高い日本語力を育成するとともに、英語が使える人材育成を目指し、実践力のある英語コミュニケーション能力を身につけ、国際社会で活躍できる人材育成を目指す。

本専攻は中学校及び高等学校のみならず、将来小学校でも語学教育ができる人材を輩出している。

経営専攻

経営専攻は、本学の教育理念である「創造性豊かな人材の育成」と「地方の適切な要望、時代のニーズに応えうる」ために、現代社会の多様化・多次元化する諸問題に対応してマネジメントできる人材育成を目指す。そのためには、次の学びを行う。

第一に、企業経営、地域行政、教育、医療などの諸問題に対する多様なマネジメントに必要な専門的知識と技術を修得した人材の育成を目指す。そのために、人間行動をマネジメントする心理学、社会政策をマネジメントする経済・法律、企業をマネジメントする経営学、情報をマネジメントする情報管理学の4つの側面から、マネジメントの理論と実践を学習する。

第二に、他の専門職との連携と調整、さらには、問題指向的なマネジメントを行えるマインドとスキルを養成する。そのため、学生に対して、専門性を異にする複数の教員から学習指導が受けられる教育体制を整備する。2学年対象の「経営系基礎演習」では、共通課題（例：地域医療、沖縄振興、観光産業等）に対し、4つのマネジメント区分のゼミ別に分析・検討を加える。そして、その学習成果を共有することで、多様化・多次元化するマネジメントの様相の理解が促進され、自らの適性・興味を考慮した専門性の選択が可能となる。また3～4学年の「専門演習Ⅰ・Ⅱ」「専門演習Ⅲ・Ⅳ」では、他のゼミと連携し、テーマ発表から中間発表、最終発表までを共同開催し、他の専門性を有する教員と学生との

質疑応答を通じて、自らの専門性を深めることができる環境を提供する。

第三に、現代社会のマネジメントに必要な「実践力」をもった人材育成を目指す。そのために、ISO9000 や ISO14000 の基盤的考えである PDCA サイクル（計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（act））の手法などを実践的に身につけるために、インターンシップの受講を積極的に推奨する。事前研修としての「インターンシップ基礎」では、キャリア教育を行うだけでなく、学生ごとに、PDCA サイクルに必要な現状分析、数値目標の設定、プロセスの開発、資源の獲得と適正化、プロセスの運営、効果性の分析、プロセスの改善・向上策について、1つ以上の課題を設定し、学外での「インターンシップ実践」で現場担当者（フィールド・インストラクター）からも意見を聴取して実践的に学ばせる。その後、フィールド・インストラクター及び教員を交えた報告会で質疑応答を行い、現場教育の発展的学習の可能性を探る。

第四に、経営専攻においては、他の専攻が提供する副専攻カリキュラムの履修を積極的に奨励し、国内外の言語・文化、先端的な情報技術、観光産業の専門性をあわせ持つシステムマネジメント能力をもった人材育成と、大学院における高度専門職業人養成を視野に入れながら、学群における教育研究に努めていく考えである。

情報システムズ専攻

情報化の浸透と企業経営の国際化に伴い、民間企業は勿論のこと、国や地方公共団体のあらゆる分野で、情報活用能力及び経営的センスと、国際的視野及び感覚を備え、さらに、システム思考に優れ、問題解決ができる人材が必要とされている。特に地方県である沖縄では、中小企業の比率が高く、このような人材に対するニーズが高い。具体的には、LAN/インターネット接続型ネットワークの構築・管理・運営の高度なスキルを有する人材、イントラネットとデータベース知識を有し、それらの管理・運営とコンピュータによる問題の発見及びその解決を行える人材、さらに、プログラミングやシステム設計の知識に加えてインタラクティブな Web コンテンツや Web アプリケーションを作成する知識と技術を有し、それらの管理・運営を行える人材などが必要とされている。今後、モバイル・コンピューティングやユビキタス・コンピューティングが推進される中で、必ずしもコンピュータの専門家に対してではなく、上記の人材に対する地域社会からの需要はさらに高まっていくであろう。

情報システムズ専攻は、このような地域社会からの要望に応じて、大学創設以来掲げてきた地域との連携をさらに強化しながら、情報技術による地域経済の活性化と地域産業の振興を連携して推し進めることを第一の特色とする。第二の特色としては、情報技術による地域経済の活性化と地域産業の振興を支える担い手として、企業組織内では勿論のこと、複数の連携組織間でも協働・調整しながら、決断・行動できる自律した人材を育成することである。第三には、沖縄県の地理的・歴史文化的特性、とりわけ人的・物的交流が盛んで、国際的開放性が高い地域を基盤とした、実践に基づく情報技術の応用を発展させることのできる人材を育成することである。

診療情報管理専攻

診療情報管理士とは、カルテ（診療録）の内容精査と管理を行うライブラリー作業だけではなく、得られた診療情報をデータベース化し、WHO の勧告する国際疾病分類（ICD-10）に基づきコーディング作業を行い、さらにデータベースの分析と解析を通して医療の質を保証し、医療ニーズの分析を行う専

門職である。

医学的な専門知識を持つ「診療情報管理士」は、病院経営の場で即戦力のある貴重な人材として高いニーズがある。このような県内の医療現場、地域社会の要請に応え、高い情報処理能力を有し、幅広い教養と専門的知識を身につけた人材を育成していくことが本専攻の目標である。医療情報管理のエキスパートを養成するために、医学的知識、診療情報管理、IT 技術、経営管理の4つの専門領域を学ぶことができる。

本専攻の特色は、第一に沖縄県内では唯一の「診療情報管理士」認定試験に必要な全科目を履修することができる認定大学である。第二に、大学生活の4年間で幅広くアカデミックな教養を深めながら、認定試験合格の為に勉強をすることができる。そのため、他大学では取得できない資格をもって就職活動をスタートすることができる。第三に、病院をマネジメントするためには、医学的知識やIT技術は欠くことのできないスキルであるため、医学・医療を教授する医師、医療制度・診療録の専門家である診療情報管理士、診療録をデータベース化するIT技術を指導する教授陣、それぞれの分野の専門家が「診療情報管理士」の資格取得に向けて指導を行うことができる。診療録をデータベース化し、病院経営にも参画できる専門的な知識と技能をもち、医療の安心・安全に貢献できる専門職を育成していく。

観光産業専攻

国際化、少子高齢化の進展、ライフスタイルの多様化等により観光が地球規模で展開し、観光産業および観光振興への社会的ニーズが高まっている。特に沖縄県は観光立県として数多くの観光振興策やリゾート開発プロジェクトが県全域において計画、運営されているが、この分野に関わる人材が質・量ともに不足しており、地域および観光産業の振興をリードするスペシャリストの育成が急務となっている。観光産業専攻においてはこうした社会のニーズに対応し、地域社会及び国際社会に貢献できる実践能力のある人材を育成する。

観光産業は歴史や文化をはじめ、健康や自然、交通運輸、都市計画等様々な要素を持つ裾野の広い産業である。特に、本学は本島北部地域に位置し、リゾートホテルの集積地であると同時に「やんばる」と呼ばれる国の天然記念物や貴重な固有生物が生息する自然に恵まれた地域に立地している。そのため、当専攻においては3つのコース（観光政策・ビジネス、環境・エコツーリズム、観光文化）を設け観光人材の育成に努めていく。

本専攻の特色は以下の通りである。

第一に、開学以来掲げてきた地域との連携をさらに強化し、産官学連携の中での人材育成に努める。

第二に、生きた教材であるやんばるの森での教育・研究活動を通して、自然・環境に配慮した観光振興や歴史、文化資源をいかした観光等、広い視野から地域や産業に貢献できる人材を育成する。

第三に、観光産業等を担う地域のリーダーの養成と国際観光への方向性を戦略的にコーディネートができる人材を育成する。

(5) 学群・学類・専攻の名称及び学位の名称

学群・学類の名称は、国際学群 (Faculty of International Studies)、国際学類 (College of International Studies) である。国際学群には6つの専攻がありその名称は、国際文化専攻 (International Culture Major)、語学教育専攻 (Language Education Major)、経営専攻 (Management Major)、情報システムズ専攻 (Information Systems Major)、診療情報管理専攻 (Health Information Management Major)、観光産業専攻 (Tourism Industry Major) である。

授与される学位の名称は、国際文化専攻と語学教育専攻は、共に世界中の地域文化および言語を学ぶ分野のため、「学士 (国際文化学)」 (Bachelor of Arts in International Cultural Studies) である。経営専攻と情報システムズ専攻そして診療情報管理専攻は、共に人間・社会・企業・情報・医療のマネジメントを学ぶ分野のため、「学士 (経営情報学)」 (Bachelor of Arts in Management and Information Sciences) である。観光産業専攻は観光産業を学ぶ分野のため、「学士 (観光産業学)」 (Bachelor of Arts in Tourism Industry) である。

学群名称	国際学群 Faculty of International Studies					
学類名称	国際学類 College of International Studies					
専攻名称 (日本語)	国際文化 専攻	語学教育 専攻	経営 専攻	情報システムズ 専攻	診療情報管理 専攻	観光産業 専攻
(英語)	International Culture Major	Language Education Major	Management Major	Information Systems Major	Health Information Management Major	Tourism Industry Major
学位名称 (日本語)	学士 (国際文化学)		学士 (経営情報学)			学士 (観光産業学)
(英語)	Bachelor of Arts in International Cultural Studies		Bachelor of Arts in Management and Information Sciences			Bachelor of Arts in Tourism Industry